

# 青森県第二種特定鳥獣管理計画（第2次ニホンジカ）（案）に寄せられた意見の内容とそれに対する県の考え方

## 【反映状況欄の凡例】

「文書修正等」・・・本文の修正、記述の追加等意見を反映させるもの

「反映困難」・・・反映が困難なもの

「その他」・・・質問や感想。計画以外に関する意見

No.	ページ	行数等	提出された御意見等	反映状況	御意見に対する考え方
1	1	2 (2) 第3段落1 行目	レッドデータブックの「」(カギ括弧閉じ)がないため、追加してください。	文章修正等	御意見のとおり修正しました。
2	2	6 (1) ア	(ア)及び(イ)について、見出しと本文で行替えすべきところ、連続してしまっているため、修正をお願いします。 原案 : (ア) 位置本県は、～ (イ) 地形県の中央部の～ 修正案 : (ア) 位置 本県は、～ (イ) 地形 県の中央部の～	文章修正等	御意見のとおり修正しました。
3	2	6 (1) ア(イ) 2行目	国土地理院の「地名集日本2007」にもあるとおり、出羽山脈ではなく出羽山地が妥当と考えますが、いかがでしょうか。 なお、北上山地も北上高地とされています。 その他、青森平野はかなり小さいのに記載があるのに対し、三本木台地のように広がったり、世界遺産にもなった白神山地といった地形名称が含まれていなかったりしており、「地形」の概略を述べる文章において不自然さを感じますので、再考をお願いします。 地名集日本2007 <a href="https://www.gsi.go.jp/kihonjohochousa/gazetteer.html">https://www.gsi.go.jp/kihonjohochousa/gazetteer.html</a>	反映困難	ニホンジカに係る生息環境の項目であり、記載内容で、把握できることから原案のとおりとします。
4	3	6 (2) ア 第1段落 1行目	沿海「州」は帝政ロシア時代の呼び方で、現在では気象庁の「日本および日本の周辺を個別的に表す地名」に残るのみです。 地理上の位置が曖昧のため、本文での位置はソビエト連邦及びロシア連邦での沿海地方（プリモルスキー地方）を指していると考えてよろしいでしょうか。 なお、他は国名を入れているため、少なくとも以下のようにしてはどうかと考えます。 原案 : ～、沿海州など、～ 変更案 : ～、ロシア沿海地方など、～	文章修正等	以下のとおり修正しました。 沿海州→ロシア沿海地方
5	3	6 (2) イ第2段落 1行目	「積雪深地域」という言葉はないので、後半に記載されている「積雪の深い地域」でよいのではないのでしょうか。	文章修正等	御意見のとおり修正しました。
6	3	6 (3)	住所について、田面木は「大字」ではないのでしょうか。	文章修正等	御意見のとおり修正しました。

		ア 1行目	原案：～八戸市田面木字南ノ沢で（八戸自動車道料金所付近）～ 修正案：～八戸市大字田面木字南ノ沢（八戸自動車道料金所付近） で～		
7	4, 6	図－1 図－5	データテーブルの「R元年度」について、大文字「R」を小文字 「R」に修正願います。	文章修正等	御意見のとおり修正しました。
8	5	イ第1段落 1行目	糞塊法はカモシカ用に開発され、ニホンジカ用には糞粒法であ るようなので、用語の確認をお願いします。 ・生息密度把握手法解説 <a href="https://kinki.env.go.jp/nature/mat/data/m_2_1/ref_c_02.pdf">https://kinki.env.go.jp/nature/mat/data/m_2_1/ref_c_02.pdf</a>	その他	<b>【糞粒法】</b> ニホンジカの糞を1粒ずつ数え、詳細な 密度指標の把握が可能だが、時間がかかる ため1日で調査できる範囲が限定 調査地に確実に生息していることが前 提で、高密度地域で行う調査方法 <b>【糞塊法】</b> ニホンジカのまとまって落ちている糞 を1糞塊として数え、1日で広範囲の調査 を行う。 調査地に生息しているかの有無を含め て確認し、低密度地域にも対応できる調査 手法  以上のことから、当県では糞塊法を採用 しております。 また、他県でも都道府県単位の広範囲モ ニタリングには主に糞塊法で実施されて おります。
9	6	図－4 図－5	① 文字の開始位置がずれているので調整をお願いします。 ② 【図－4】と【図－5】のグラフの年度別の縦位置を、でき るだけ合わせて下さい。(同じ数字の(捕獲種類別)と(地 域別)を見比べられるようにした方が良いので。)	文章修正等	御意見のとおり修正しました。
10	6	イ 第2段落 4, 5行目	県人口が減少している中での増加であり、とても優れた結果な ので、以下の一文を追加してはいかがでしょうか。担当者の皆様 のご尽力に感謝しております。 原案：狩猟者の確保対策に取り組み、2020（令和2）年度に は1,785人と増加傾向にある。	反映困難	狩猟者の推移の項目であることから、原 案のとおりとします。

			変更案：狩猟者の確保対策に取り組み、県人口は減少傾向にもかかわらず2020（令和2）年度には1,785 人と増加傾向にある。		
11	7	図－8	【図－6】【図－7】から1文字分、グラフ全体が右にずれているので修正をお願いします。	文章修正等	御意見のとおり修正しました。
12	8	(5)ア、ウ	被害がなく、懸念材料を記載するのは、「被害状況」の報告として不適切（執筆者の感想が入っており、分析に客観性を欠く）です。 懸念材料は削るか、表題を「被害状況及び課題」などとした上で、文中の表現を「イ」のように実際の被害と懸念材料とで段落替えして分離した記載となるようにお願いします。	文章修正等	「被害状況及び課題」に修正し、文中の表現を実際の被害と懸念材料とで段落替えを行いました。
13	8	(5)イ 第1段落3 行目	2015年の記述が長く、2020年の記述との間に読点もないことから、以下のように整理してはいかがでしょうか。 原案：～農作物被害が確認され2020（令和2）年度は、～ 変更案：～農作物被害が確認された。（段落を分ける） 2020（令和2）年度は、～	文章修正等	以下のとおり修正しました。 ～三戸郡三戸町のりんご園地で本県初のシカによる農作物被害が確認され、2020（令和2）年度は～
14	8	7 3行目	P5【表－2】だけを見ると、2019（令和元）年度から2020（令和2）年度に倍増（急激な増加）に見えてしまうため、どのくらい増加すれば「大幅な増加」「急激な増加」といえるのか、ご教示ください。（○参考の枠内のアの指標と比較しても、2倍を超えている市町もある。）	その他	明確な基準はありませんが、青森県指定管理鳥獣管理対策評価科学委員会において以下の評価を受けています。 1 平均糞塊密度 増加傾向にあるものの東北地方では200糞塊/kmを超える地域があることから、大幅な増加とはなっていない 2 農作物被害 東北地方では2億円を超える被害が発生している県があることから、急激な増加とはなっていない
15	8	7 3行目	○参考の枠内のイと比較しても、農作物被害は倍以上となっており、急激に増加しているのではないのでしょうか。どのくらいの増加であれば、「急激な増加」といえるのか、指標をお聞かせください。	その他	No.14を参照下さい。

16	8	7 4行目	「低密度ではない」「高密度である」といえるのはどの程度の平均糞塊密度以上なのか、お聞かせください。	その他	明確な基準はありませんが、他県の状況を参考に専門家の方々の御意見をいただいたものです。 No.14を参照下さい。
17	10	イ(ア) 1行目	見出しと本文で行替えすべきところ、連続してしまっているの で、修正をお願いします。 原案：(ア) 農地周辺のシカの定着解消農地周辺に定着した～ 修正案：(ア) 農地周辺のシカの定着解消 農地周辺に定着した～	文章修正等	御意見のとおり修正しました。
18	10	イ(ア) 2行目	イの本文第2段落で「特に農業被害の防止のため、」と記載がある ため、(ア)の「農業被害の防止に向けて、」は不要と考えます。	文章修正等	御意見のとおり修正しました。
19	10	エ 第1段落 2,3行目	抽象的な言い回しが多いため、以下のようにしてはいかがでしょ うか。 原案：～、狩猟者の減少や高齢化は野生鳥獣の管理の永続的な実施 に支障をきたす恐れがあることから、～ 変更案：～、狩猟者の減少や高齢化は野生鳥獣の永続的な管理が困 難となることから、～	文章修正等	以下のとおり修正しました。 ～、狩猟者の減少や高齢化は野生鳥獣の 永続的な管理に支障をきたす恐れがある ことから、～
20	10 12	エ 第1段落 4行目 10(1) イ 第2段落 2行目	免許を取得しやすくするのではなく、免許所持者を増やすこと が目的なので、以下のようにしてはいかがでしょうか。(免許試 験そのものの合格基準を下げるように見えかねないので。) 原案：～狩猟免許を取得しやすい環境整備等の取組～ 変更案：～狩猟免許所持者を増加させるための環境整備等の取組 ～	反映困難	狩猟免許を取得しやすい環境整備等の 取組とは、P6「イ 狩猟者の推移」の3行 目からの「～狩猟免許試験の回数を2回か ら3回へ増やす等～」が該当し、免許試験 そのものの合格基準を下げるものではあ りませんので、原案のとおりとします。
21	10	エ 第2段落 1行目	P14【図-9】では【鳥獣被害対策実施隊】とあるため、「鳥獣 被害防止対策実施隊」で間違いないか、確認をお願いします。	文章修正等	御意見のとおり「鳥獣被害対策実施隊」 に修正しました。
22	10	(2)	ア～カは事業実施要項に記載すべきものであり、本計画内では 以下の程度で十分と考えますがいかがでしょうか。 変更案：県は、管理計画の目標を達成するため、指定管理鳥獣 捕獲等事業に関する実施計画（以下「実施計画」とい う。）を定め、認定鳥獣捕獲等事業者に委託して実施す る。	反映困難	各項目について、明記することにより関 係機関、関係団体以外にも、指定管理鳥獣 捕獲等事業への理解につながると考えて いることから、原案のとおりとします。

23	11	(3) ア	用語として「ア」のみ「鳥獣害」、他は「鳥獣被害」となっていました。おそらく、「ア」は森林法の影響で鳥獣「害」とし、他は鳥獣保護法の影響で鳥獣「被害」としていると思われます。難しいとは思いますが、用語の統一をご検討ください。	文章修正等	御意見のとおり「鳥獣被害」に修正しました。
24	11	(3) ア(イ)	市町村には、「～区域」として設定すること、対応策を強化すること、鳥獣害防止の取組を検討することを求めているのでしょうか。文章が長いので、求めることが分かるように文章を区切ってくださると助かります。	文章修正等	以下のとおり修正しました。 ～鳥獣被害を防止するための措置を講ずべき森林の区域を「鳥獣害防止森林区域」として設定し、森林整備と一体となった具体的な鳥獣被害防止の対応策の強化につながる取組を検討する。
25	12	10(1) イ 第1段落3 行目	P10(2)2行目に(以下「実施計画」という。)とあるため、この箇所の「実施計画」は「指定管理鳥獣捕獲等事業に関する実施計画」ということで間違いありませんでしょうか。	その他	間違いありません。
26	12	10(1) イ 第2段落1 行目	抽象的な言い回しが多いため、以下のようにはいかがでしょうか。 原案：～、狩猟者の減少や高齢化は、シカの管理の永続的な実施に支障をきたす恐れがあることから、～ 変更案：～、狩猟者の減少や高齢化はシカの永続的な管理が困難となることから、～	文章修正等	以下のとおり修正しました。 ～、狩猟者の減少や高齢化は、シカの永続的な管理に支障をきたす恐れがあることから、～
27	15	(2) 第2段落	「～対策を講じていくためには、～育成に努める。」について、以下のようにはいかがでしょうか。(リーダーの育成が必要なことと、育成に努めることが混在しているように見えるため。) 原案：また、～講じていくためには、リーダーの育成に努める。 変更案1：また、～講じていくためには、リーダーの育成が必要となっていることから、県、市町村及び関係機関が連携を図りながら、その育成に努める。 変更案2：また、～講じていくために、リーダーの育成に努める。	文章修正等	以下のとおり修正しました。 また、地域ぐるみの被害防止対策を講じていくため、鳥獣の生態や被害防除技術を理解し、的確な対策を実践・指導できるリーダーの育成に努める。

28	15	(3) ア 1,2行目	<p>周知内容が、困難であるために地域ぐるみの被害防止対策が必要であることを普及啓発する必要があると思いますので、以下のようにはいかがでしょうか。</p> <p>原案：農林業被害等を未然に防止するには、単に捕獲に依存するだけで困難であることを広く県民に周知を図る必要があることから、～</p> <p>変更案：農林業被害等を未然に防止するには、単に捕獲に依存するだけで困難であり、地域ぐるみの被害防止対策を講じることが求められることを、広く県民に周知を図る必要がある。このため、～</p>	文章修正等	<p>以下のとおり修正しました。</p> <p>農林業被害等を未然に防止するには、単に捕獲に依存するだけでは困難であり、地域ぐるみで被害防止対策が求められることを、広く県民に周知する必要がある。このため、～</p>
29	15	(3) イ 1行目	<p>P11 (3) アの表題に合わせて、以下のようにはしていただければ幸いです。</p> <p>原案：農作物被害防止対策を推進するため、～</p> <p>変更案：農林業被害対策を推進するため、～</p>	文章修正等	御意見のとおり修正しました。
30	17	用語集	<p>ボイストラップ法 アイウエオ順になっているため、「糞塊法」と「捕獲庄」の間に移動させてください。</p>	文章修正等	御意見のとおり修正しました。